

# 富良野市備蓄計画

令和4年3月

富良野市

1 はじめに	1
2 備蓄計画の基礎的な考え方	1
(1) 行政備蓄について	
(2) 流通在庫備蓄について	
(3) 家庭内備蓄について	
3 感染症に対応した備蓄のあり方	3
4 被害想定等	3
(1) 想定条件	
(2) 避難者の予測	
5 市による備蓄品目及び目標数量	4
(1) 食料・飲料水	
(2) 生活用品	
(3) 感染症予防物資	
(4) 防災用資機材	
6 備蓄場所	7
7 別紙類	7
(1) 別紙第1「年度別備蓄計画」	
(2) 別紙第2「防災協定一覧表」	

## 【1 はじめに】

市では、「富良野市地域防災計画」に基づき、災害時における不測の事態に備えて、非常食や毛布、発電機など各種資機材等の備蓄を行っています。

平成 23 年 3 月 11 日、三陸沖を震源とする東日本大震災では、マグニチュード 9.0、最大震度 7 が観測され、平成 27 年 1 月警察庁のまとめによると、死者 15,889 人、負傷者 6,152 人、行方不明者 2,592 人、住宅被害も全壊・半壊 401,567 棟発生し、多くの尊い人命が失われるとともにライフラインや道路、鉄道、港湾などの交通手段が寸断し、市町村公共施設にも大きな損害を受けました。

近年では、急変する気象の影響による集中豪雨（ゲリラ豪雨）による浸水や土砂災害、大雪・暴風雪による視界不良等による通行止め等が全国各地で頻発しており、平成 30 年 9 月 6 日には、胆振地方中東部を震源として、最大震度 7 の北海道胆振東部地震が発生し、死者 42 名、負傷者 762 人、建物全壊 462 棟、半壊 1,570 棟発生するなど、甚大な被害をもたらしました。本市においても震度 4 を記録し、およそ 2 日間停電が続き、流通がストップした影響で、日用品等が不足するなど、市民生活に影響を及ぼしました。

このような状況を踏まえ、本市では、災害時に迅速・円滑な応急対策活動に資するための備蓄体制の確立を図ることを目的に、「富良野市備蓄計画」を策定し、逐次備蓄を準備することで「安全安心なまちづくり」を推進します。

## 【2 備蓄計画の基礎的な考え方】

災害時の備蓄体制は、①自助（自分の備えは、自分で行う。）、②共助（地域や職場で助け合う。）、③公助（公的機関が支援を行う。）を基本的な考え方とし、最低限必要な家庭内備蓄と事業者が有する流通在庫備蓄及び市が行う行政備蓄を整備することで、市民・事業者・行政が一体となって構築することを目標としています。以下、基本的な考え方を提示します。

### (1) 行政備蓄について

行政備蓄とは、市が平時から実施する食料等の備蓄をいいます。大規模災害時には、家屋の倒壊等により多数の避難者、負傷者の発生が想定されることから、市は平時から食料、生活用品及び防災用資機材の備蓄に努めます。

### (2) 流通在庫備蓄について

流通在庫備蓄とは、民間の事業者等に協力を要請し、在庫の食料や日用品などを災害用の備蓄として活用する備蓄をいいます。市では、災害時における物資等の供給に関する協力体制を確保するため、事業者等と協定を締結しています。今後も多くの供給が受けられるよう市内外の事業者等と協議し、協定の締結に努めます。

### (3) 家庭内備蓄について

家庭内備蓄とは、市民が自らの家庭内において最低3日分の食料や飲料水、ラジオ、懐中電灯、医薬品等の備蓄を行うなど、日頃から災害時に必要な物資を蓄えておくことをいいます。

災害発生直後には食料品等の確保が困難になることが想定されるため、各家庭において備蓄に努めるよう、市のホームページ、広報誌、防災ガイドマップ等を通じて、継続的に啓発を行うものとします。

#### 【家庭で備蓄することが望ましいもの】

##### (食料品等)

米 乾パン 乾麺 アルファ米などの非常食 缶詰類 切り餅  
インスタント食品 菓子類 飲料水 など

##### (生活用品等)

衣類(上着・下着・靴下) 毛布・寝袋 歯ブラシ タオル  
ティッシュペーパー ウエットティッシュ 箸・スプーン・使い捨て食器  
紙コップ ろうそく マッチ・ライター 軍手・手袋  
懐中電灯・乾電池 カイロ ビニール袋 ナイフ 缶切り  
ロープ ホイッスル 筆記用具 携帯ラジオ 携帯トイレ  
トイレトペーパー 救急箱・常備薬 携帯通信機器 カセットコンロ  
ヘルメット・防災頭巾 など

##### (貴重品等)

現金・小銭 通帳類 身分証等(マイナンバーカード・運転免許証・保険証等)  
印鑑 服用薬・お薬手帳 眼鏡・コンタクトレンズ 家族写真 など

##### (女性)

生理用品 化粧水・保湿クリーム 手鏡 など

##### (乳幼児)

紙おむつ 粉ミルク 離乳食 哺乳瓶 新生児服 バスタオル  
おしり拭き 母子手帳 など

##### (高齢者・障がい者)

後期高齢者医療保険証 介護保険証 介護用品 補装具・福祉用具  
日常生活用具 など

##### (停電対策・感染症対策)

モバイルバッテリー・USB充電器 LEDランタン 防寒着・防寒用品  
マスク 石鹸・ハンドソープ 消毒剤 除菌シート 体温計  
電池式ストーブ など

##### (ペットのいる家庭)

名札(飼い主・ペットの名前を記載し首輪に装着) リード ケージ  
ペットフード など

### 【3 感染症に対応した備蓄のあり方】

これまで「複合災害」といえば、台風や地震といった自然災害が同時発生した場合と捉えるのが一般的でしたが、新型コロナウイルスのような感染症の流行下で自然災害が発生する場合も「複合災害」と捉えて、新たな視点で防災対策を考えていくことが強く求められています。

感染症流行下で自然災害が発生した場合、避難者が3密（密閉・密集・密接）を避けることが基本となり、特に避難所開設の対応に配慮する必要があります。この中で備蓄品においても感染防止対策や健康観察のための品目を整備していくことが重要となります。このため、災害対策部門と感染症対策部門が連携して、家庭や事業所等において推奨する備蓄品の啓発を行うとともに、行政備蓄の充実を図ることとします。

### 【4 被害想定等】

避難者数については、風水害・土砂災害・地震等の各種自然災害が考えられますが、東日本震災のような大規模災害となった場合でも、円滑な応急対策活動が求められることから想定災害を「地震」とし、「富良野市地震防災マップ（揺れやすさマップ）」（平成29年3月策定）の被害想定に基づき算出します。

#### (1) 想定条件

想定地震		直下型地震
地震規模		市内全域で震度6弱
建物被害棟数	全壊	約500棟
	半壊	約2,320棟

#### (2) 避難者の予測

##### ア 建物全壊による避難者数

$$500 \text{ 棟} \times 2 \text{ 人 (世帯平均人数)} = 1,000 \text{ 人}$$

注) 全壊での避難率を100%と想定する。

##### イ 建物半壊による避難者数

$$2,320 \text{ 棟} \times 2 \text{ 人 (世帯平均人数)} \times 50\% = 2,320 \text{ 人}$$

注) 半壊での避難率を50%と想定する。

※家屋の全壊により住む場所を失った方は、避難所で生活することを余儀なくされ、かつ物資の確保が困難と想定されます。また、家屋が半壊した方は、自宅から必要な物資を持ち出すことが可能なことから、家屋の「全壊」により住む場所を失った方を交付対象者として計上します。

**備蓄品交付対象者 1,000 人**

## 【5 市による備蓄品目及び目標数量】

備蓄の整備に係る計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間の総量を定めるものとし、備蓄品目は、緊急性があり、家屋の倒壊、焼失等により避難した住民にとって、災害発生から救援物資が到達するまでの間、必要不可欠な食料・飲料水、生活用品及び防災用資機材などを選定します。

なお、年齢区分別に必要な備蓄品については、以下の備蓄品交付対象者（以下「交付対象者」という。）に基づき算出することとします。

### 【年齢区分及び交付対象者数】

年齢区分	交付対象者数	構成割合	必要となる主要備蓄品
0歳	6人	0.6%	粉ミルク、哺乳瓶
1～2歳	12人	1.2%	アルファ米（かゆ）、保存パン
3～79歳	860人	86%	アルファ米、保存パン、麺類
80歳以上	122人	12.2%	アルファ米（かゆ）、保存パン
合計	1,000人	100.0%	
0～4歳	30人	3.0%	紙おむつ（乳幼児用）
10～59歳女性 （注）	265人	26.5%	生理用品
要介護認定3以上 （在宅）	10人	1.0%	紙おむつ（高齢者用）

※割合は、住民基本台帳（令和4年1月：総人口21,053人）及び介護認定者数（令和4年1月 要介護度（在宅）3～5：215人）に基づき算定

（注）総人口の女性割合 53%（うち10～59歳は50%）、

交付対象者 1,000人 × 53%（女性割合） × 50%（10～59歳女性割合） = 265人

#### （1）食料・飲料水

災害発生後、4日目以降は、救援物資の到着が予想されることから、交付対象者に対し、1日3食×3日分を目標に備蓄します。また、備蓄量のうち50%分については、流通在庫備蓄からの調達を想定し、可能な限り保存期間が長期間のものを年次的に購入することに努めます。

なお、保存期間が残り1年未満となった食料及び飲料水については、防災訓練時に配布する等、市のイベントで活用することによって、市民の防災意識の高揚を図ります。

【食料備蓄品目及び目標数量】

品目	交付対象年齢	備蓄目標	算定方法等
粉ミルク(100ml用スティック)	0歳	90本	交付対象数 6人×2本×5回×3日×50% (※1)
主食(アルファ米おかゆなど)	1~2歳、80歳以上	600食	交付対象数 134人×3食×3日×50%
主食(アルファ米、麺類、保存パンなど)	3~79歳	3,870食	交付対象数 860人×3食×3日×50%
副食(汁物、缶詰、菓子類など)	1歳以上	1,500食	交付対象数 994人×1食×3日×50%
飲料水(500ml)	全年齢	2,250本	交付対象数 1,000人×3本×3日×50%×50%(※2)

※1 1人当たり1回の調乳量を200ml(スティック2本分)授乳するものとし、1日5回使用するものとします。

※2 飲料水のうち、流通備蓄の他、50%は市及び協定先等の給水車を活用し、必要量を確保するものとします。

(2) 生活用品

食料・飲料水同様に災害発生後、4日目以降は、救援物資の到着が予想されることから、交付対象者に対し、3日分を目標に年次的に備蓄を実施していくこととします。また、備蓄量のうち、流通在庫備蓄から調達可能な物資については、50%分を市で備蓄することとします。

なお、備蓄物資として適さなくなった生活用品については、可能な範囲で有効利用するものとします。

【生活用品備蓄品目及び目標数量】

品目	交付対象年齢	備蓄目標	算定方法等
紙おむつ(乳幼児用)	0~4歳	360枚	交付対象者 30人×8枚×3日×50%
おしり拭き	0~2歳	10個	交付対象者 20人×50%
紙おむつ(大人用)	要介護3以上(在宅)	234枚	交付対象者 13人×6枚×3日×50%
生理用品	10~59歳女性	1,193枚	交付対象者 5枚×3日×265人(10~59歳)×60%(持込率)×50%
哺乳瓶(使い捨て)	0歳	45本	交付対象者 6人×5本×3日×50%
携帯トイレ(便袋)	全年齢	9,000枚	交付対象者 1,000人×6回×3日×50%
毛布	全年齢	1,000枚	交付対象者 1,000人
寝袋	全年齢	1,000枚	交付対象者 1,000人
アルミマット	全年齢	1,000枚	交付対象者 1,000人
タオル	全年齢	500枚	交付対象者 1,000人×50%
手ぬぐい	全年齢	500枚	交付対象者 1,000人×50%
使い捨て歯ブラシ	1歳~	1,500本	1,000人×3日×50%
紙食器	1歳~	4,500枚	1,000人×3食×3日×50%
紙コップ	全年齢	4,500個	1,000人×3食×3日×50%
スリッパ	1歳~	994足	
BOXティッシュ	全年齢	38箱	1避難所あたり5箱 15×5箱×50%
ポケットティッシュ	全年齢	4,500個	1人当たり1日1個×3日×50%
トイレトペーパー	全年齢	150巻	1日10人で1巻×3日分×50%

### (3) 感染症予防物資

国の「防災基本計画」や「新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応のポイント（令和2年6月16日付内閣府公表資料）」を踏まえ、避難所における感染症などの拡大防止を目的として、備蓄を進めます。

#### 【感染症予防物資品目及び目標数量】

品目	備蓄目標	算定方法等
マスク	1,500枚	1,000人×3日×50%
除菌シート（10枚入）	500個	1,000人×50%
体温計（非接触型）	15台	指定避難所+福祉避難所
アルコール消毒機（ポンプ式）	38台	（指定避難所+福祉避難所）×5個×50%
アルコール消毒液（詰替用）5ℓ	38個	（指定避難所+福祉避難所）×5個×50%
ハンドソープ	38個	（指定避難所+福祉避難所）×5個×50%
使い捨て手袋（ゴム）	900組	（指定避難所+福祉避難所）×20枚×3日
使い捨て手袋（ポリ）	3,600組	（指定避難所+福祉避難所）×80枚×3日
フェイスシールド	270個	（指定避難所+福祉避難所）×6個×3日
感染予防用ガウン	270枚	（指定避難所+福祉避難所）×6枚×3日
間仕切り（プライバシーネット含む）※	250個	500世帯×50%

※間仕切り（プライバシーネット含む）については、協定先から必要数の50%を調達することとします。

### (4) 防災用資機材

食料や生活用品同様に災害発生後、3日目以降は、救援物資の到着が予想されることから、想定避難者の収容に必要な最低限の資機材及び応急対応に必要な資機材の確保を目標に年次的に備蓄を実施していくこととします。

#### 【防災用資機材備蓄品目及び目標数量】

品目	備蓄目標	算定方法等
デジタル無線機	21台	指定避難所+福祉避難所+災害対策本部+ハットール用
投光器	14台	指定避難所+福祉避難所
カセットコンロ	28台	（指定避難所+福祉避難所）×2台
石油ストーブ（ブルヒター）	14台	指定避難所+福祉避難所
灯油用ホリソク	14個	指定避難所+福祉避難所
車用インバーター	14台	指定避難所+福祉避難所
小型発電機	14台	指定避難所+福祉避難所
ガソリン携行缶	14缶	指定避難所+福祉避難所
簡易ベッド（段ボールベッド含む）	122台	80歳以上
組立式簡易トイレ	20台	50人に1台として換算
ケージ（犬猫用）	14台	指定避難所+福祉避難所
電源タップ	28個	（指定避難所+福祉避難所）×2個
懐中電灯	28個	（指定避難所+福祉避難所）×2個
LEDランタン	28個	（指定避難所+福祉避難所）×2個



## 【6 備蓄場所】

備蓄場所は、大規模及び広域的災害となった場合でも、初動対策が実施できるように「市役所本庁舎」及び「ふれあいセンター」に分散備蓄を行います。

備蓄場所の選定については、避難所等に迅速かつ確実に備蓄品を運搬できるような場所を今後も検討していきます。

## 【7 別紙資料】

- (1) 別紙第1「年度別備蓄計画」
- (2) 別紙第2「防災協定一覧表」

## 別紙第 1

## 年度別備蓄計画

## 【食料品】

品目	交付対象年齢	既存備蓄数	R4	R5	R6	R7	R8	備蓄目標 (R8まで)
粉ミルク※	0歳	72	90	90	90	90	90	90本
アルファ米 (かゆ)	1～2歳、 80歳以上	250	100	100	100	100	200	600食
アルファ米、保 存麺、保存パン	3～79歳	2,216	800	800	800	800	800	3,870 食
副食(汁物、缶 詰、菓子類)	3歳以上	1,040	300	300	300	300	300	1,500 食
飲料水 (500ml)	全年齢	0	0	560	560	560	570	2,250 本

※粉ミルクは保存期間が短いため、必要備蓄量を毎年購入することとします。その他の食料・飲料水等については、保存期限が5年以上のものを購入し、保存期限が1年未満となったものについては、随時更新をしていきます。

## 【生活用品】

品目	交付対象年齢	既存備蓄数	R4	R5	R6	R7	R8	備蓄目標 (R8まで)
紙おむつ (乳幼児用)	0～4歳	1,534	0	0	0	0	0	360枚
おしり拭き	0～2歳	24	0	0	0	0	0	10個
紙おむつ (大人用)	要介護 3以上	1,000	0	0	0	0	0	234枚
生理用品	10～54 歳女性	540	0	140	140	140	233	1,193 枚
哺乳瓶 (使い捨て)	0歳	100	0	0	0	0	0	45本
携帯トイレ(便 袋)(※ラップ <sup>®</sup> 式トイレ 詰替分含む)	全年齢	2,000	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	9,000 枚
毛布	全年齢	510	100	100	100	100	90	1,000 枚
寝袋	全年齢	140	100	200	200	200	160	1,000 枚
アルミマット	全年齢	200	100	200	200	200	200	1,000 枚
タオル	全年齢	0	0	100	100	100	200	500枚
手ぬぐい	全年齢	0	0	200	100	100	100	500枚
使い捨て歯ブラシ	1歳～	0	0	400	400	400	300	1,500 個
紙食器	1歳～	0	0	1,000	1,000	1,000	1,500	4,500 個
紙コップ	全年齢	1,000	0	1,000	1,000	1,000	500	4,500 個
スリッパ	10歳～	1,000	0	0	0	0	0	994足

BOXティッシュ	全年齢	0	0	20	20	20	18	38箱
ポケットティッシュ	全年齢	0	500	1,000	1,000	1,000	1,000	4,500個
トイレットペーパー	全年齢	0	0	40	40	40	30	150巻

#### 【感染症対策予防物資】

品目	既存 備蓄数	R4	R5	R6	R7	R8	備蓄目標 (R8まで)
マスク	10,000	0	0	0	0	0	1,500枚
除菌シート(10枚入)	50	50	100	100	100	100	500個
体温計	15	0	0	0	0	0	15台
アルコール消毒機(ポンプ式)	20	4	4	4	3	3	38台
消毒液5ℓ(詰替用)	20	0	4	4	4	6	38個
ハンドソープ	24	0	0	0	7	7	38個
ゴム手袋	2,400	0	0	0	0	0	900組
ポリ手袋	4,000	0	0	0	0	0	3,600組
フェイスシールド	110	0	40	40	40	40	270個
感染予防用ガウン	100	0	40	40	40	50	270枚
間仕切り(アラバシーテット含む)	116	0	40	40	40	14	250個

#### 【防災用資機材】

品目	既存 備蓄数	R4	R5	R6	R7	R8	備蓄目標 (R8まで)
無線機(デジタルトランシーバー)	21	0	21	0	0	0	21台
投光器	12	0	1	1	0	0	14台
カセットコンロ	0	4	6	6	6	6	28台
石油ストーブ	9	0	2	1	1	1	14台
灯油用ホリツツ	0	0	4	4	4	2	14個
車用インバーター	4	0	3	3	2	2	14台
小型発電機	12	0	1	1	0	0	14台
ガソリン携行缶	7	0	2	2	2	1	14缶
簡易ベッド(段ボールベッド含む)	70	10	10	10	10	12	122台
組立式簡易トイレ	16	0	1	1	1	1	20台
ケージ(犬猫用)	5	0	2	2	2	3	14台

電源タップ	18	0	3	3	2	2	28個
懐中電灯	30	0	0	0	0	0	28個
LED ランタン	5	5	5	5	5	3	28個

## 別紙第2

## 防災協定締結先一覧（令和4年3月現在）

協定名	締結日	締結先	担当（要請）窓口 （電話番号）
災害時における北海道及び市町村相互の応援に関する協定	平成27年 3月31日	北海道 北海道市長会 北海道町村会	上川総合振興局地域政策部地域政策課 0167-46-5321
北海道消防防災ヘリコプター応援協定	平成8年6 月25日	北海道 道内72市町	富良野広域連合消防本部富良野消防署 0167-23-5119
全国へそのまち協議会加盟市町村災害時の相互応援に関する覚書	平成24年 1月17日	栃木県佐野市 福島県本宮市 兵庫県西脇市 岡山県吉備中央町 熊本県山都町 沖縄県宜野座村 群馬県渋川市 山梨県中央市 北海道富良野市	西脇市都市経営部次世代創生課 0795-22-3111
災害時における道北市長会構成市相互の応援に関する覚書	平成25年 4月8日	道北9市	旭川市消防部防災課 0166-33-9969
災害時の避難所利用に関する協定	平成26年 12月25日	芦別市	芦別市総務部総務課 0124-22-2111
災害時の歯科医療救護活動に関する協定	平成27年 4月1日	旭川歯科医師会	旭川歯科医師会 0166-22-2361
災害時における医療救護活動に関する協定	平成元年1 月26日	富良野医師会	富良野医師会 0167-22-2767
災害時における福祉施設の利用及び職員派遣等に関する協定	平成25年 5月1日	富良野市社会福祉協議会 富良野あさひ郷	富良野市社会福祉協議会 0167-39-2215 富良野あさひ郷 0167-23-1619
災害時におけるボランティア活動に関する協定	平成25年 5月1日	社会福祉協議会	富良野市社会福祉協議会 0167-39-2215
災害時における宿泊施設等の提供に関する協定	平成25年 5月1日	北の峰旅館組合 富良野旅館業組合	富良野ナチュラルスホテル 0167-22-1777
災害時における観光客等への情報提供及び避難等に関する協定	平成25年 5月1日	ふらの観光協会	ふらの観光協会 0167-22-5777
災害時における災害応急復旧業務に関する協定	平成9年2 月10日	富良野建設業協会 道北電気工事業協同組合富良野支部 富良野管工事業協同組合 北海道建築士会富良野支部長	富良野建設業協会（那知組） 0167-23-3585
災害等の発生時における富良野市と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定	平成22年 6月17日	北海道エルピーガス災害対策協議会	北海道エルピーガス災害対策協議会 上川支部 0166-46-3220 富良野分会（津山興産） 0167-22-2135

災害時における富良野管工事協会との応急対策復旧業務に関する協定	平成 22 年 11 月 1 日	富良野管工事業協同組合	富良野管工事業協同組合（後田設備工材） 0167-23-3565
災害時における応急対策業務に関わる協定書	平成 23 年 12 月 1 日	道北電気工事協同組合富良野支部	道北電気工事協同組合富良野支部（一戸電建） 0167-23-4467
災害時における応急対策業務に関する協定	平成 27 年 10 月 30 日	上川管内市町村、上川地方建設業協会連絡協議会	一般社団法人旭川建設業協会 0166-22-5144
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	平成 25 年 3 月 15 日	ホクレン商事E-3プ'ォーリスト店  ホクレン商事E-3プ'山部店  生活協同組合市民生協コープさっぽろ富良野店  (株)西川食品 ホームマック株式会社 道北アークスラルズマート富良野店	ホクレン商事E-コープフォーレスト店 0167-22-4340 ホクレン商事E-コープ山部店 0167-42-2088 生活協同組合市民生協コープさっぽろ富良野店 0167-22-2147 (株)西川食品 0167-22-4664 DCM ホームマック富良野店 0167-39-1080 道北アークスラルズマート富良野店 0167-23-4567
災害時における非常通信業務に関する協定	平成 8 年 9 月 24 日	富良野市無線赤十字奉仕団	富良野市無線赤十字奉仕団（事務局 箭原） 0167-39-2313
災害時における石油類燃料の供給に関する協定	平成 25 年 3 月 15 日	富良野地方石油業協同組合	富良野地方石油業協同組合（西出興業株式会社） 0167-22-3505
災害時における放送の協力に関する協定	平成 24 年 7 月 1 日	(株)ラジオふらの	(株)ラジオふらの 0167-22-2761
災害時における輸送等の協力に関する協定	平成 8 年 9 月 27 日	ふらのバス株式会社 旭川地区トラック協会富良野部会 富良野沿線ハイヤー協会	ふらのバス株式会社 0167-23-3131 旭川地区トラック協会 0166-48-7244 富良野沿線ハイヤー協会 0167-23-1254
災害時における炊き出し業務及び救護活動に関する協定	平成 8 年 10 月 2 日	富良野市赤十字奉仕団	富良野市赤十字奉仕団（富良野中央婦人会） 0167-39-2318（社会教育課）
災害時発生時における富良野市と富良野市内郵便局の協力に関する協定	平成 31 年 3 月 29 日	日本郵便株式会社	富良野郵便局 0167-22-8115
災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定	平成 29 年 2 月 17 日	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	株式会社セブン-イレブン・ジャパン旭川南地区担当 0166-33-9970
自治体と上富良野駐屯地との連絡体制の強化に係る協定	平成 29 年 5 月 22 日	陸上自衛隊上富良野駐屯地	陸上自衛隊第 104 特科大隊 0167-45-3101（内線 2263）
災害時における下水道管路施設の復旧支援協力に関する協定	平成 30 年 3 月 23 日	北海道、道内市町村、道内全下水道事業者	北海道建設部まちづくり局都市環境課 011-204-5572
災害時における下水道施設の技術支援協力に関する協定	平成 30 年 3 月 23 日	北海道、道内市町村、道内全下水道事業者	北海道建設部まちづくり局都市環境課 011-204-5572

富良野市と公益社団法人隊友会旭川隊友会富良野支部とによる災害時等における防災支援に関する協定	平成 30 年 4 月 13 日	公益社団法人隊友会 旭川隊友会富良野支 部	公益社団法人隊友会旭川隊友会富良 野支部 0167-23-3109
災害発生時に係る情報発信等に関する協定	平成 31 年 1 月 17 日	ヤフー株式会社	ヤフー株式会社 社会貢献事業本部 03-6898-6763
災害時等におけるレンタル機材の提供に関する協定	平成 31 年 4 月 1 日	株式会社共成レンテ ム富良野営業所	株式会社共成レンテム富良野営業所 0167-39-0220
包括連携協定	平成 31 年 4 月 23 日	ヤマト運輸株式会社	ヤマト運輸株式会社道北主管支店富 良野支店 0570-200-704
災害時における応急生活物資の供給に関する協定の締結について	令和元年 8 月 30 日	株式会社合同容器	合同容器株式会社旭川営業所 0166-57-2431
災害時における医薬品及び応急生活物資の確保に関する協定	令和元年 10 月 8 日	株式会社ツルハ	株式会社ツルハ北海道第三店舗運営 部 0166-34-1193
災害時等における給電車等の貸出に関する協定	令和 2 年 7 月 30 日	旭川トヨタ自動車株 式会社 旭川トヨペット株 式会社 トヨタカローラ道北 株式会社 ネットヨタ旭川株 式会社 株式会社トヨタレン タリース旭川	旭川トヨタ自動車株式会社富良野店 0167-22-3175 旭川トヨペット株式会社富良野店 0167-23-4196 トヨタカローラ道北株式会社富良野 店 0167-22-3584 ネットヨタ旭川株式会社ふらの店 0167-23-3166 株式会社トヨタレンタリース旭川 富良野店 0167-23-2100
災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定	令和 2 年 8 月 20 日	株式会社ふらの衛生 社 富良野浄化工業株 式会社 株式会社西塚清掃社	株式会社ふらの衛生社 0167-42-2396 富良野浄化工業株式会社 0167-22-4744 株式会社西塚清掃社 0167-23-1643
災害時における廃棄物処理等に関する協定	令和 2 年 9 月 10 日	富良野地区清掃事業 協同組合 アートクリーン有 限会社 富桑工業株式会社 北清ふらの株式会社	富良野地区清掃事業協同組合 0167-39-2323 アートクリーン有限会社 0167-23-1211 富桑工業株式会社 01674-22-2522 北清ふらの株式会社 0167-42-2396
避難行動要支援者支援に関わる個人情報の管理に関する協定	令和 2 年 11 月 18 日	富良野市民生委員 児童委員協議会	事務局（福祉課） 0167-39-2211
災害時における災害応急復旧業務に関する協定	令和 3 年 6 月 28 日	株式会社橋場ガラス	株式会社橋場ガラス 0167-22-2012
大規模災害時における相互協力に関する協定	令和 4 年 2 月 1 日	北海道電力株式 会社、 北海道電力ネット ワーク株式会社	北海道電力ネットワーク株式会社富 良野ネットワークセンター 0167-23-4131